

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	パステールUKI（児童発達支援）			
○保護者評価実施期間	令和7年1月15日		～	令和7年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数)	24
○従業者評価実施期間	令和7年1月15日		～	令和7年2月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年4月1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○個々に合わせた療育内容提供 ・感覚刺激、運動分野、原始反射等個々の特性に合わせた『身体の土台づくり』をおこなっている。	・子ども達にとって大前提である『安心安全』の環境づくりを大切にしている。 ・療育時間が短時間で限られているのでその時間内で最善の支援ができるよう時間配分、環境調整など、工夫している。 ・子どもの発達段階、特性をしっかり理解をし、その子に合わせたアプローチを行っている。 ・子どもの「今」の状況に合わせ、集団や個別など柔軟に対応できる環境調整を行っている。	・各専門分野からの直接的な学びを常に深め、支援の中で生かしていく。 ・職員間での毎日の振り返りを行い、様々な課題を上げ、職員間で共有していく。
2	○保護者支援 ・保護者との関係性を大切にし、保護者様の悩みに寄り添いながら、関係機関連携や移行支援につながるよう積極的に行っている。 ・専門的視点での保護者様へお子様の発達段階や、困り感の背景について情報提供を行っている。	・療育内容の報告は丁寧に行っている。 ・保護者様との日頃の関係性を常に大切にし、何かあった時に気軽に相談できる雰囲気づくりを行っている。 ・職員間で連携しながら、保護者の変化をすぐにキャッチし傾聴していく。 ・保護者様の関わり方の負担などを共感し、子どもの困り感は子ども本人が一番困っている事だと理解してもらうよう、今の発達段階などの情報提供を行う。	・モニタリング時以外にも何かあれば、保護者様と話ができる時間を確保していく。 ・研修や茶話会等の要望も多いので、保護者間だけでなく、職員間との交流もできるように企画していく。 ・様々な情報を伝えたり、保護者向けの研修を行い、お子さんへの関わり方のヒントになるよう企画していく。
3	○職員間の連携 ・『身体の土台づくり』への目標が、職員共通として明確にあるので、そこへ向けてのアプローチに対して職員それぞれのアセスメント力、視点、対応力がしっかりできている。	・職員間での気付き等、情報共有や連携を図る時間を確保している。 ・職員同士で尊重し合える場の設定、関係づくりを意識的に行っている。	・支援内容以外での、職員の中にある様々な新しい情報を取り入れながら職員間で共有し、支援の幅を広げていく。 ・子ども達だけでなく、職員自身のより良い日常となる為の環境づくりを行っている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○環境面 ・構造上の問題での階段 ・施設周辺の交通量の多さ	・階段は個の特性の中で環境の中での切れ目となる場合があり、行動面で困難な要因になることがある。	・あえての様々な場面での経験として支援者側が捉えながら関わっていく。
2	○情報の発信 ・ホームページ、SNS等の情報発信に乏しい。 ・保護者に対しての避難訓練開催や、各マニュアル等の情報の周知が出来ていない。 ・外活動など、スケジュールを提示できていない。	・利用児への個別への発信はできているが、全体への周知、外部への情報発信ができていない。 ・個の状況、感情等の「今」の状況を大切に行う療育プログラムとしているため。	・保護者とのモニタリングや面談時に周知し、理解していただけるよう伝えていく。
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
バステールUKI (児童発達支援)		令和7年4月1日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	7		階段危険性が生じる可能性がある 雨の日等も滑り易い
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1		もっと職員間での話、職員からの意見を聞く時間が必要
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	2	未回答1	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10			
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	1		もっと必要だと思う

提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	2		時々把握できない時もある 忙しい時こちらから聞く様にしている 確保出来ない事が多い
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	5	3	未回答2	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	6	未回答1	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	6	未回答1	計画はしたいが実際にできていない
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	3		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	7	未回答1	事業所の行事ができていない
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	3		職員には周知出来ているがご家族には出来ない
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	4	未回答1	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	2		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	3		家族の周知ができていない
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	1		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10			